

ANNUAL REPORT 2014

2015年1月期 アニュアルレポート



目次

社長挨拶	_____	3ページ
財務ハイライト	_____	4ページ
事業概況	_____	6ページ
組織図	_____	9ページ
企業活動(CSR)	_____	9ページ
会社概要・沿革	_____	15ページ



経営理念



自然と人間が、いっしょに幸せになる仕事

社会・経済構造が劇的な変化を遂げ、確たる指標なき時代、企業は自身の哲学を掲げることに
よって自らの道を切り拓かねばなりません。哲学のない企業に未来を創造することはできない。

—— 私どもが自ら質すなかで出した答えは

「自然と人間(みんな)がいっしょに幸せになる仕事」というキーワードです。

ここには<地球環境・お客様・ビジネスパートナー・社員とその家族・株主>という5つのステーク
ホルダーとの共存共栄が謳われています。この5つのステークホルダーとの共存による「幸せの
輪」の創造こそ、私どもが目指す企業像です。

たとえば、どんなに企業の利潤が上がっても、その事業が地球の環境破壊を引き起こしてい
たり、社会倫理に反していたりしたら、その企業は優良と呼べるでしょうか。そこに働く社員や家族は
幸福と言えるでしょうか。ひとりひとりの社員が、自分の仕事がお客様に喜んでいただける、社会
に貢献していることを実感できてはじめて自らの仕事に誇りと責任感を持つことができます。そし
て、その責任感はビジネスパートナーとの相互信頼を育み、共に成長しお互いの事業の成功と発
展にもつなげられるのです。さらに事業の成功は利潤を生み、株主の皆様にもご満足いただくこ
とができると考えます。

白崎コーポレーションはこの「幸せの輪」の実現に向けて、ここに掲げた経営理念をすべての企
業活動の礎とするべく胸に刻み込み、社会から尊敬される企業となれるよう、そしてトップを含め
社員みんなが夢を語り合える企業となれるよう、今後も自らを厳しく律しながら挑戦を続けてまい
ります。



経営方針

- 一、 私たちはいつも環境に心を配り、地球の繁栄につくっていきます。
- 一、 私たちは顧客満足度の向上に努め、お客様の信用をたかめていきます。
- 一、 私たちはビジネスパートナーと共に歩み、確かな信頼関係を築いていきます。
- 一、 私たちは日々の仕事を通して自己を高め、豊かな未来をつくっていきます。
- 一、 私たちは適正な利潤を追求し、株主のみなさまの期待に応えていきます。



ミッション・ビジョン

- ・ミッション 私たちは事業を通じて社会に貢献できる人を育てます。
- ・ビジョン 全社員が自分の会社に誇りを持てるような最高の中小企業になります。



社長挨拶

「7年計画の1年目を振り返って」

代表取締役社長 白崎 弘隆

景気が良くなりそうで、もうひとつ盛り上がり欠けたような2014年。4月の消費税アップの前には駆け込み需要で大きく踊らされたものの、その後の反動で消費者の消費マインドは大きく冷え込んで需要は落ち込みました。9月以降の円安では自動車会社などの輸出企業にとっては利益アップの要因になったと思われる一方で、海外からの仕入れが多い当社にとってはマイナスの影響の方が多く、なかなか難しい年でありました。

このような1年でしたが、昨年作成した7年計画の1年目を終えてみると、全社的には目標を達成することができました。総括すると、サプライビジネス事業部が売上では若干目標をクリアできなかった分を、グリーンナップ事業部が太陽光発電所の防草対策などの新分野開拓で目標以上の成果を出して補うことができました。

サプライビジネス事業部のリユースカートリッジの市場では、海外からの違法な海賊版が通販事業者を通して多数流通していることもあり、安売り競争が依然として続いています。そのような状況の中でも、当社としてはできるだけお客様に製品やサービスの品質の違いをご理解いただくことにより販売価格を維持する努力を続けてまいりました。その結果、サプライビジネス事業部としては減収増益となりました。ただ、年々売上が縮小していただければ今後厳しくなっていくことが予想されるので、今年度はその他の商材も積極的に販売していく予定です。

グリーンナップ事業部においては、太陽光発電所の防草などの新しい分野開拓で目標をクリアすることができました。しかし、この分野は今後も長期的に続くとは予想できないため、今後はその他の市場や新しい商材を早急に開発していくことが課題となります。

当社では、この2年の間に太陽光発電所を3か所、トータルで900KW規模のものを完成させ、すでに売電も開始いたしました。環境を大切にする企業として自然エネルギー一面でも社会に貢献していきたいと思っております。


財務ハイライト

(連 結)

(連 結)

(単独)

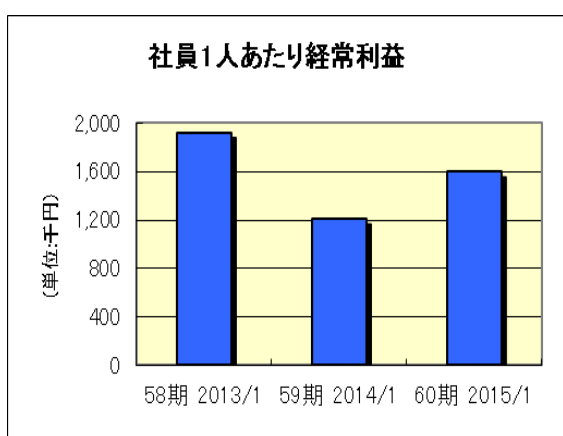
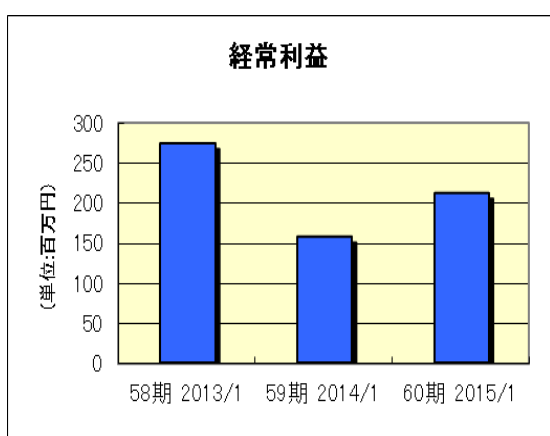
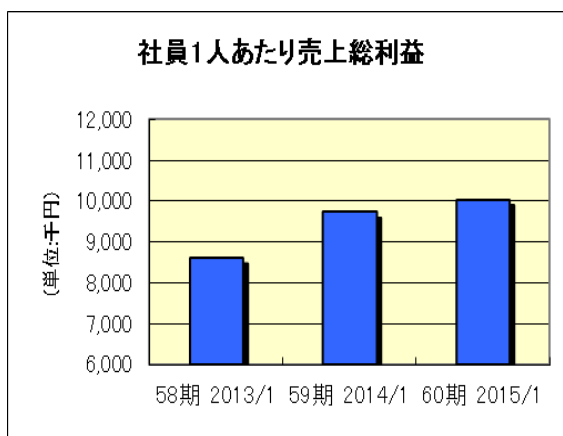
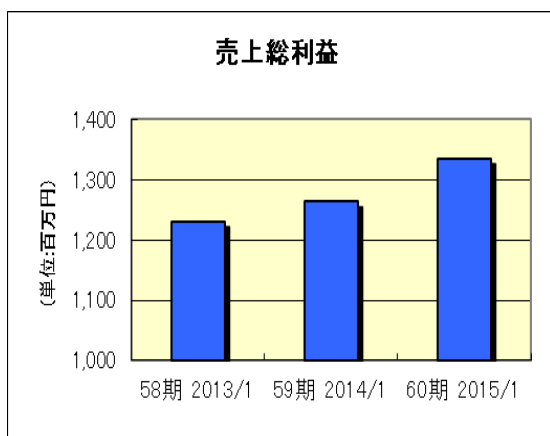
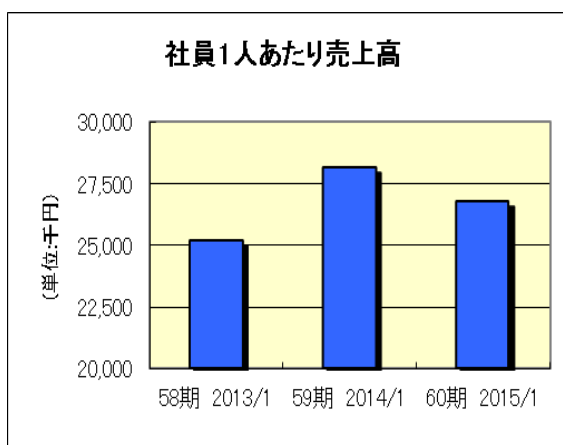
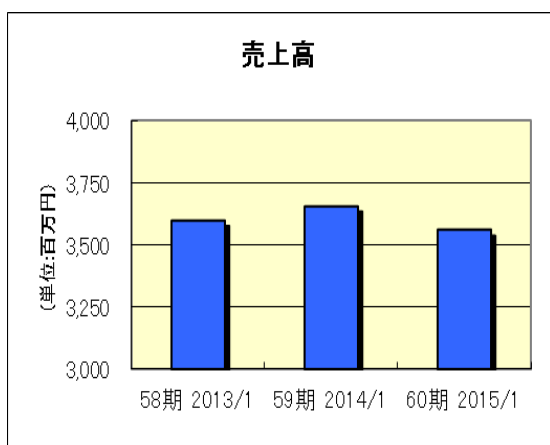
	単位	58期 2013/1	59期 2014/1	60期 2015/1
売上高	千円	3,600,565	3,658,731	3,561,377
売上総利益	千円	1,229,518	1,263,496	1,333,632
売上総利益率	%	34.1%	34.5%	37.4%
経常利益	千円	274,493	156,683	211,902
経常利益率	%	7.6%	4.3%	6.0%
総資産	千円	2,371,703	2,314,204	2,664,429
自己資本	千円	1,266,396	1,217,677	1,203,470
自己資本比率	%	53.4%	52.6%	45.2%
総資産経常利益率	%	11.6%	6.8%	8.0%

2013年1月期から2015年1月期までの白崎コーポレーションの決算の数値を掲載しています。

売上高につきましては、2015年1月期は35億6,137万円と前期比2.7%の減収となりました。再生トナーカートリッジや事務用消耗品の販売を行うサプライビジネス事業では、ターゲットを絞った営業活動や、小売店向けのPOP広告媒体「宣電部長」の発売開始などの拡販に努めましたが、減収となりました。一方、防草シートや緑化資材の販売を行うグリーンナップ事業では、太陽光発電施設の雑草管理という新しい市場開拓により、増収となりました。

利益面につきましては、効率改善によるコストダウンや経費削減に加えて、太陽光発電事業の売電収入も寄与したために、2億1,190万円の経常利益となりました。

今期は引き続き業務集約による効率化や経営資源の再配分を推進するとともに、既存事業を基盤とした新しい産業を創造する企業を目指して、新規市場開拓と新製品の開発に取り組んでいきます。





事業概況

■グリーンナップ事業部

取締役グリーンナップ事業部長 中川 豪

- ・ ミッション 防草緑化事業を基盤とし、快適な生活空間を提供します。
- ・ ビジョン 防草緑化の資源を最大化し、新しい産業を創造する企業を目指します。

グリーンナップ事業部の2014年度は、公共事業の受注が出だしから好調で、成長市場である太陽光発電所向けの受注も順調に推移し、また通販部門の好業績による全体的な押し上げもあり、大きく成長した1年でした。

特に太陽光発電所向けの市場は成長が著しく、それに伴ってお客様からの問合せや相談も増えてきました。既存の太陽光発電所ではすでに雑草の繁茂による問題が顕著になりつつあり、また新設の太陽光発電所でもいずれ出てくる雑草対策の意識が高まっていると実感しています。一方で、この太陽光発電の固定買取り価格は毎年下がっており、投資目的の事業者にとっては魅力が薄れるために、太陽光発電所の建設ピークは長くても2年と予想しています。今後は建設から保守メンテナンスへと変わっていく太陽光発電市場に対応すべく、資材の販売と施工・メンテナンスサービスを一元化し、長期間の保証サービスを提供できるように体制を整えていきます。そしてこの市場をさらに成長させ、将来にわたる安定市場として育てていきたいと考えています。

また、公共事業は国の政策に左右されることはあるものの、雑草問題に対する認識も高く、管理コストの削減や地域住民からのクレーム対策として従来の除草作業から防草工法にシフトしていることから、引き続き安定した市場と見ています。さらに農業分野でも、中山間地域、高齢化、TPP対策など多くの課題はありますが、その解決に向けた商品やサービスの提供は当社にとって大切な役割であると認識しています。

これら3つの市場をこれからの重要市場として捉え、当事業部の強みである場面や状況に応じた適切な防草・緑化手法を地域密着でお客様に提供したいと考えています。

ミッション・ビジョンの見直し

20年前に新規事業として防草・緑化シートの扱いを開始して以来、雑草を抑えることと雑草を抑えながら目的の植物を育てることに注力し、顧客視点から多種多様な商品開発に取り組んできました。そして、防草・緑化に関して業界のリーダー的立場となった現在、従来の「物品販売」からお客様が求める雑草問題の根本解決に向けた「サービス販売」に舵をきりました。一方、この事業を展開していく中で多くの協力者の方々（仕入パートナー、販売パートナー、お客様、社員、株主）に支えられています。それは当事業部にとって大きな経営資源、事業資産であり、更なる発展に向けての潜在的な強みになると認識しています。

そこで今年度の当事業部のビジョンを『防草緑化の資源を最大化し、新しい産業を創造する企業を目指します』としました。この事業に関わっているパートナーの知識、経験、知恵、技術を総合的に活用し、最大化することで更なる成長を描きたいと考えています。

そして今後は水路の目地補修やグラスパーキング、屋上緑化、電飾イルミネーション、海外展開など、新しい商品・サービスの開発や将来の柱となる新規事業の育成にチャレンジしていきます。

■サプライビジネス事業部

取締役サプライビジネス事業部長 相澤 英昭

- ・ ミッション 私たちは再生トナーを中心に、お客様の利益に貢献できる、製品・サービスを提供します。
- ・ ビジョン 私たちは再生トナービジネスを原点として、さらなる分野・市場に進出するものづくり企業を目指します。

サプライビジネス事業部の2014年度を振り返ってみますと、利益については確保できましたが、収益の柱としている再生トナーカートリッジの市場環境がより一層厳しくなっており、新たな商材やサービスの育成が急務であると認識させられた年となりました。

サプライビジネス事業部は今年度よりミッションならびにビジョンを変更しました。どちらも再生トナーカートリッジを出発点として新たな製品やサービスをお客様にお届けするという内容とし、将来に向けて新たな収益源の柱を育てていくという思いを込めました。

現在の再生トナーカートリッジ市場は、成長の伸びが鈍化しているために同業者間でのお客様の取り合いが増えており、結果として価格競争が激化しています。また、海外から流入してくる模倣品やコンパチ品、すなわち再生トナーカートリッジとは異なり全てのパーツを新たに製造して組み立てた違法性の高い製品が増えていることも、価格競争を助長する一因となっています。さらに円安の影響もあり、原材料の高騰や運送費の値上げなど、収益を圧迫する要因も増えてきています。しかしながら、品質やサービスを犠牲にした価格競争を続けることは、長い目で見た場合に再生トナーカートリッジ業界にとって決して好ましいことではありません。そのため当社が所属する日本カートリッジリサイクル工業会（AJCR）では2011年より「E&Qマーク規格」を制定し、品質面や環境面での基準を満たす製品にE&Qマークラベルを表示するという活動に取り組んでいます。このように厳しい環境の中にある再生トナーカートリッジ市場ではありますが、業界でもトップレベルの品質とサービスを提供できるという当社の強みを活かした事業活動を継続し、頑張っていきます。

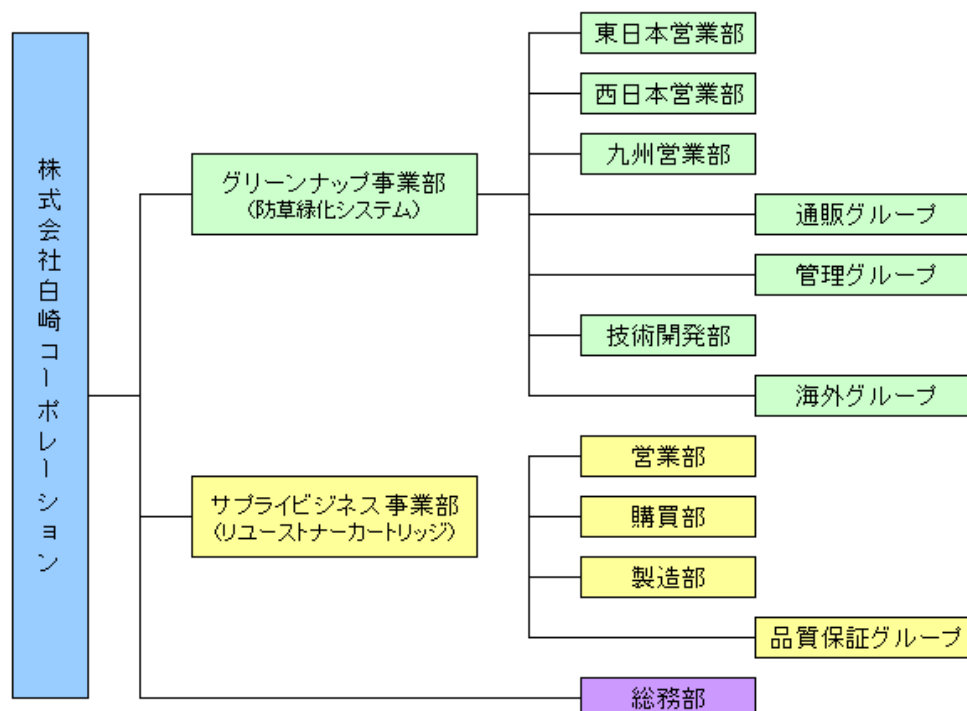
また、長年お付き合いのあるお客様や販売店様は当事業部にとって大切な財産と考えております。今後、より一層の信頼関係強化を図り、現在の収益の柱となっている再生トナーカートリッジについては言うまでもなく、次なる新商材やサービスによりお客様の利益に貢献していきます。

2013年に販売を開始した「宣電部長」という手書きPOPと電子POPを組み合わせた当社オリジナルの新商材については、様々な業種のお客様からご好評をいただいております。さらに今年度からはグリーンナップ事業部で販売している「防草植栽シート」についても当事業部で取り扱いを開始し、現在お取引のある企業様からの引き合いも増えてきております。今後は更に商材を増やし、お客様の様々なご期待、ご要望にお応えできるように社員一丸となって日々進化してまいります。





組織図



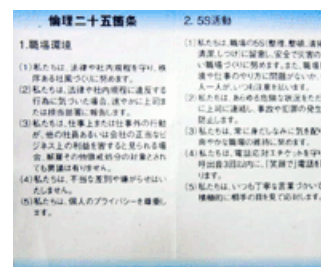

CSR（企業活動）

先進国では社会が豊かになるに従い、経済成長以外のさまざまな価値観が生まれ、企業評価の指標として、法律や制度で定められた範囲を超えて「よりよい行動」をすることを望ましいとする傾向が生まれています。白崎コーポレーションでは、経営理念、経営方針として、企業活動をめぐる5つのステークホルダー（地球環境・お客様・ビジネスパートナー・社員とその家族・株主）との共存共栄を、また、ミッションとして、社会に貢献できる人財育成を掲げて、CSR活動体制の整備と強化を行っています。企業に求められる社会的責任の内容は、時代とともに変化していきます。積極的な働きかけにより地域社会の抱えている問題を十分認識したうえで、事業を通じて蓄積したノウハウや能力を社会に還元し、問題解決に貢献していくことが、地域社会からの信頼につながるものと考えています。

【1】 法令及び企業倫理の遵守

■ 企業倫理

白崎コーポレーションでは2001年に企業倫理の徹底を図るため「倫理25か条（職場環境、5S活動、環境、営業・業務活動、会社資産の保護）」を策定し、社員全員が「経営理念」「経営方針」といっしょに毎朝の朝礼で唱和をすることにより、理解の徹底から実行を図っています。



■ お客様情報及び個人情報の管理

社内の情報管理につきましては、以下の5つのセキュリティールールを定め、情報管理研修を実施するとともに全社員から誓約書を徴収し、情報漏洩の未然防止を図っています。

1. パソコンの利用に関するセキュリティールール
2. 外部媒体の利用に関するセキュリティールール
3. メール利用に関するセキュリティールール
4. インターネット利用に関するセキュリティールール
5. 白崎ネット（当社グループウェアシステム）へのアクセスに関するセキュリティールール

また、特に個人情報の取扱いにつきましては、その取得から利用、開示、利用停止、消去に至る詳細な運用ルールを定め、個人情報の保護に努めております。

【2】 社会性報告

1. 社員とともに

白崎コーポレーションの使命は「事業を通じて社会に貢献できる人を育てる」ことであり、そのためには「社員は財産（人財）」と考えています。社員が安心して働ける環境を整え、自ら考え、学び、行動できるよう様々な制度や仕組みを作り、社会に貢献できる人づくりを推進しています。

■新卒採用～若いフレッシュな感覚に期待～

2007年から新たに採用戦略を構築し、新卒採用活動を積極的に推進しています。若手社員をリクルーターに選抜し、彼らを中心に会社説明会を運営しています。2015年4月には2名の有望な人財を採用することができました。

■社員教育

社員の能力開発と挑戦する組織風土の形成を目指して、2005年度に教育体系をOJT・集合研修・自己啓発の三本柱として再編成を行い、2006年度から本格的な社員教育を実施しています。社員教育の基本は職場における指導・育成であるOJTにあります。OJTでは補い切れない能力開発の場として階層別やテーマ別の社内研修を推進しています。また、通信教育受講や社外研修等参加の費用補助も実施しており、社員の積極的な自己啓発の取り組みを支援しています。2014年度は管理職者を対象として、外部講師によるリーダーシップ研修を実施しました。



■ビジネス・キャリア検定試験と公的資格～専門能力と管理能力～

自己啓発の動機付けと、取得能力を評価・測定するツールとして、「ビジネス・キャリア検定試験」の受験を推奨しており、春と秋に実施される試験には毎年多くの社員が受験しています。合格者は社内の掲示板に掲載し、昇格試験にも活用しています。例えば、部長クラスであれば、職務分野2級1科目以上および共通分野（労務管理、経営戦略など）3級1科目以上の合格が必須となっており、専門能力と管理能力の両面の自己啓発が要求されます。また、業務に関連した公的資格への挑戦も奨励しており、難易度に応じてビジネス・キャリア検定合格と同等の評価をしています。

■目標管理制度～目標は自分で考え、決めて、実行～

当社の目標管理制度は、社員一人ひとりがそれぞれの部署の目標をもとに、上司との話し合いを通じて自分の仕事の目標を立てて計画的に取り組み、上期・下期の年2回達成度合を評価する制度です。個人の目標は上司から与えられるものではなく、まず自らが考えて、上司との個人面談を通して十分に話し合っ決めておることになっており、社員の自発的な行動を促す仕組みとなっています。

■褒める社風の定着～社員表彰制度～

会社や社会に貢献した社員をみんなで褒め称えるよう、以下の5種類の表彰について規程および実施要領を制定し、広く社内に公開しています。

1. 永年勤続表彰
2. 白崎MVP
3. 改善提案大賞
4. 改善提案報奨
5. 5S大賞

特に、白崎MVPは2001年から続いており、社員相互での推薦の中から選抜され、推薦されたものすべてが公開されます。ボランティア活動や、他部門との連携・協力など、自分の業務以外の功績による推薦や受賞も多数見受けられます。

2. 地域社会とともに

白崎コーポレーションは、企業も社会の一員であると考え、積極的な社会貢献活動に取り組むことにより社員の社会貢献意識を高めています。さまざまな活動を通じて地域の方々との交流を図り、地域社会と共に成長していきたいと考えています。

■環境教室

地元の小学生を工場見学に招待し、最初にリサイクルや環境保護に関する説明を当社の事例を挙げながらセミナー形式で行い、その後で工場の製造現場に入って実際に物づくりの作業を見てもらうというものです。小学5年生児童の環境に関する課外活動として学校単位で参加していただき、2010年度は2校に参加いただきました。工場内に子供達の元気な声が満ち溢れ、また積極的な質問が次々に出てきて環境への関心の高さに驚かされました。環境教室を通じて子供達の環境を大切にしたいという想いを高めていくお手伝いができればと考えています。

■ NPO法人への支援

NPO法人「緑地雑草科学研究所」は、人々の生活圏の緑地環境を創り向上させることを目的として設立されました。そのNPO法人を支援することにより、適切な雑草の制御技術や利用技術の確立と普及活動に貢献しています。

■ 納涼祭

近隣住民の方々を福井工場に招待しての納涼祭は、毎年恒例の行事として定着しています。当社のOBも多数参加し、社員と一緒に焼きそばや焼き鳥、クレープなどを楽しむ交流の場として、非常に好評をいただいています。2012年からは若手社員が中心となり、新たなイベントとして開催しています。



【3】 環境保護活動の実績

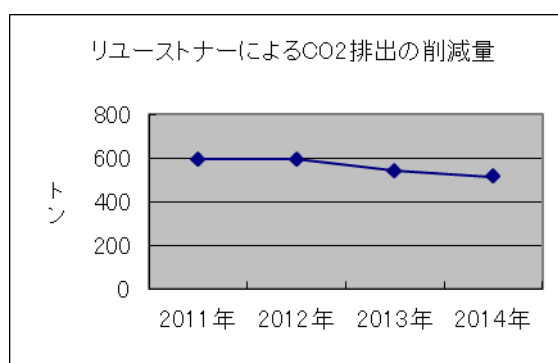
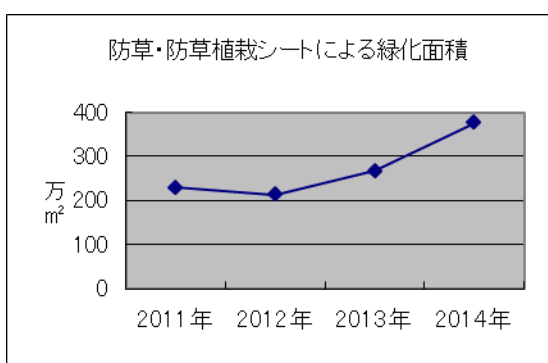
白崎コーポレーションでは限られた資源を有効に活用し、できるかぎり環境に負担をかけない企業活動に全事業所で取り組んでいます。

■ 防草緑化事業による環境保護

雑草を抑える防草シートや雑草を抑えながら目的の植物を育てる防草植栽シートを施工することにより、公園や道路の法面、太陽光発電施設等の雑草問題を解決して、貴重な緑地資産の価値を高めることが出来ます。また、低コストでの管理が可能になるため、維持にかかるエネルギーを削減しながら社会の景観美化を推進することが出来ます。2014年度は376万㎡の緑化を行いました。

■ トナーカートリッジの再生事業による環境保護

トナーカートリッジ本体を再利用するリユーストナーカートリッジは、限りある資源を有効に活用する循環型社会を構築するうえで重要な役割を担っています。リユーストナーカートリッジを使用することにより、本体のプラスチックの原料である原油をカートリッジ1本あたり2.5リットル削減できるという効果があります。また、リユーストナーカートリッジは本体のプラスチックの製造や廃棄処理におけるCO₂の排出量の削減にもつながるため、1本あたり2.6キロのCO₂が削減できるという効果もあります。2014年度は515トンの排出量削減につながりました。



■ 廃棄物のリサイクル

工場の生産工程で投入される材料や資材のロスを低減する、コピー用紙の再利用を行うなど、社内での省資源に努めています。また、発生したトナーカートリッジ等の廃棄物はプラスチックの原料や金属資源として、梱包材等に使用されていたプラスチックの廃棄物は梱包用ラップの原料としてリサイクルすることにより、資源の有効活用を行うと同時に最終処分量の削減に努めています。

■ 太陽光発電の導入

太陽光発電のメリットはクリーンな自然エネルギーであり、地球温暖化の原因となる二酸化炭素の削減に大きく貢献できます。現在、当社が所有している太陽光発電所には鯖江太陽光発電所（福井県）、三国太陽光発電所（福井県）、鹿児島太陽光発電所（鹿児島県）の3箇所があり、1年間に約100万キロワットの発電を行っています。これは、全社で使用している1年間の電力量の約2倍にもなります。また、これらの太陽光発電所にはグリーンナップ事業部で販売している「太陽光発電用防草シート」が使われており、太陽光発電の障害となる雑草の繁茂を長期間抑えることで、効率の良い発電を維持することが出来るようになっていきます。



会社概要

株式会社白崎コーポレーション	
設立 : 1955年7月2日 資本金 : 9,800万円 代表者 : 代表取締役社長 白崎 弘隆 従業員数 : 128名 (男75名、女53名) 事業内容 : 防草植栽シート、その他緑化用品資材の企画・販売 トナーカートリッジ、インクリボン、その他事務用消耗品 (OAサプライ品) の販売	
本社・工場	〒916-0076 福井県鯖江市石生谷町11-23 TEL : 0778-62-2200 (代表) FAX : 0778-62-3336 (代表)
東京支店	〒103-0023 東京都中央区日本橋本町3-9-7 富久第2ビル TEL : 03-3667-9881 (サブライビジネス事業部直通) TEL : 03-6892-4400 (グリーンナップ事業部直通) FAX : 03-3667-9880 (共通)
西日本営業所	〒660-0881 兵庫県尼崎市昭和通3-90-1 尼崎K. Rビルディング TEL : 06-6430-1711 (サブライビジネス事業部直通) TEL : 06-6430-1713 (グリーンナップ事業部直通) FAX : 06-6430-1715 (共通)
九州営業所	〒812-0894 福岡県福岡市博多区豊1-6-25 TEL : 092-473-1430 (サブライビジネス事業部直通) TEL : 092-473-1452 (グリーンナップ事業部直通) FAX : 092-473-1436 (共通)
福井物流センター	〒915-0801 福井県越前市家久町27-1-1 TEL : 0778-21-8500 FAX : 0778-21-8502



沿革

2012年	濟南古菱納普商貿有限公司 設立
2011年	株式会社白崎ホールディングス、株式会社白崎グリーンナップ 株式会社白崎インターナショナルを株式会社白崎コーポレーションに合併
2004年	ISO9001全事業所認証取得
2003年	株式会社白崎グリーンナップ 設立
2001年	ISO14001全事業所認証取得
2000年	福井県経営品質奨励賞を受賞
1996年	防草緑化事業への参入、トナーカートリッジ再生事業への参入
1994年	白崎テープ株式会社と株式会社羽田が合併 株式会社白崎コーポレーションに称号変更、鯖江市石生谷町に本社設立
1955年	白崎テープ工業株式会社設立
1949年	個人創業

**We work towards
people living in harmony
with environment.**

みんな
自然と人間がいっしょに幸せになる仕事

